

第2回Non-Borderボッチャ交流会

2019年12月22日、桐陰会館にて「第2回Non-Borderボッチャ交流会」を開催しました。本交流会は年齢・性別・国籍・スポーツ経験・障がいなどの違いを越えて交流し、「スポーツを通じた“ゆたかなくらしづくり”」を目指すことを目的とした、2019年2月の第1回交流会に続く2回目の開催です。参加者は総勢150名ほどとなり、居住地（首都圏だけでなく新潟からも参加）、国籍（ナイジェリアやタンザニア、ケニアなどからも参加。NHKスワヒリ語放送の取材あり）、年齢（幼児からお年寄りまで多種多様）、スポーツ経験（ナイジェリア女子バレー代表選手も！）、あるいは障がいの有無も越えたまさにNon-Borderな交流を図ることができました。



ナイジェリア代表
バレーボール女子選手の挨拶

当日の様子を簡単にご紹介させていただきます。まず、希望者によるボッチャ体験会で幕を開け、英語同時通訳付きの開会式では、ルール・進行説明の他、参加チームからの一言紹介を行いました。

そして今年度の交流会の特色の1つに、「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム2019」との同時開催が挙げられます。このユースフォーラムでは筑波大附属・同附属坂戸・帝京・自由学園・都立府中東・クラーク記念国際の各学校から集まった20名強の高校生が、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、おもてなしの精神について

学び、その後、アウトプットの1つとして「共生社会」をテーマにグループワークを行いました。開会式でのチーム紹介は、グループで制作したポスター発表の場ともなり、参加者の皆さんにはイチオシポスターへの投票をお願いしました。

続いて第一部では、24チームが6リーグに分かれ総当たり戦を行い、その後の順位決定戦を経て、優勝3チームを決定しました。今回初めてボッチャを行うチームもあれば、日頃から積極的に練習を重ねているチームもありましたが、どのチームも一球入魂。各コート、試合の最後まで何が起こるかわからない展開に、固唾を飲んだり歓声を上げたりと非常に盛り上がりを見せっていました。そしてボッチャおよびポスター投票の優勝チームを表彰し、第一部は幕を閉じました。

その後、当曰くじ引きで決定した混合チームによるノックアウト戦を主とする第二部に移ります。どのチームも一丸となって試合に挑む様子は即席のチーム



チームメイトが見守る中、渾身の一投！

とは思えないほどでした。日頃とは異なるチームメイトとのプレーに相乗効果が起き、ハイブリッドな戦術や奇跡的な場面の数々も生み出されていたようです。最後には決勝戦のコートを全員で囲み、会場全体で試合の行く末を見守りました。

また今年度は新たにいくつかの企画が加わり、非常に盛り沢山な会だったように思います。

まず実行委員会の結成です。サロン 2002 のメンバーに加え、第 1 回交流会にプレイヤーとして参加した方など、非常に頼もしい皆さんが実行委員に名乗りを上げてくださいました。8 月 16 日、11 月 22 日の 2 度の実行委員会を経て、交流会本番を迎えるました。メンバー一同の様々な意見やアイディアを総結集させ、前回よりパワーアップした交流会となりました。

次に手作りボッチャボールワークショップの実施です。世界中で実施されているボッチャですが、中には容易に用具が手に入らない地域も存在します。実際にネパールでボッチャの指導・普及を行っていた講師から、身近な材料である古紙や砂、カラーテープを用いたボッチャボールの作り方を教えていただきました。なお、本交流会特別ルールとして、正式なボールにこの手作りボールを 1 球追加し投球することを可能としており、用意していた材料が足りなくなるほどの人気を博しました。

そしてボッチャバーでは、ドリンクに加え、ケニアなどのアフリカ諸国でよく食べられているスナック「マンダジ」「サモサ」を新たに提供しました。収益はサロン 2002 が毎年 U-18 フットサルリーグチャンピオンズカップを開催し、かつ台風 19 号災害により被災された千曲市に、市民の方々のための義援金としてお届けしました。

その他昨年に引き続き、団体紹介デスクでは 5 つの団体が活動紹介・チャリティー販売などを行いました。また、日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) が展開する i-PLAY TRUE リレーでは参加者の皆さんから「2020 年以降に残したいスポーツのいいところ」や「交流会で感じたスポーツの価値」などのメッセージを集めました。そして会場校である筑波大学附属中学校・高等学校の卒業生や学校の歴史を紹介する資料室を開設。大河ドラマ「いだてん」で話題の金栗四三氏・嘉納治五郎氏などの功績も展示されており、各々、試合の合間に楽しんでおられました。



多様な参加者によって白熱したゲームが展開された

以下、参加者の皆様から頂きましたコメントの一部をご紹介させていただきます。

「ボッチャの奥深さを感じそれ自体の楽しさも感じられたし、それを通してなら何のつっかえもなく知らない人と話せるのだということを感じた。海外の方と話すことをきっかけに英語での会話に自信持てるようにもなった気がする。」「今回このボッチャ大会に参加して良かったと思います。そう思う理由はただ楽しかったからという理由だけでなく話したことのない人と交流できたり年代やハンディキャップ、出身を越えた交流ができたことが大きい理由です。こういう機会を増やして私と同じような経験を多くの人がするべきだと思います。いろんな人と一緒に過ごすことで絆が生まれることを実感しました。」「ボッチャのような誰でもできる、人を選ばない競技は素敵なものだと思うのでオリンピックの競技になればいいなと思いました。」「ボッチャ自体は思っていた以上に難しく、ボールの重さや的が動くことなど、驚くことが多くありました。身体のどこかが不自由な方たちもそれを感じさ



現役高校生を囲んでの懇親会

せず楽しんでいたり、様々な国から来た人たちがボッチャを通してたくさん関わっていて、年齢や性別、障がい、国を超えて共に楽しんで接することができるることは素晴らしいことだなと思いました。スポーツだからこそできることがあると改めて実感しました。」…等々。

本交流会はボッチャの普及が目的ではなく、Non-Border な交流を図る 1 つのツールとしてボッチャを利用しています。今回の交流会開催によって参加者の皆さんに種が蒔かれるきっかけとなり、スポーツによって得られた Non-border な交流の芽生えが今後

も継続して成長し、いつかゆたかなくらしという大輪の花が咲くことを願います。

なお、今回の交流会は「草の根事業育成財団」からの助成を受け、また、「SPORT FOR TOMORROW」認定事業として実施しました。加えて J-Workout、豊島区スポーツ推進委員会、文京区スポーツ推進委員会、国際障がい者活躍社会創造協会の皆様をはじめ、実施にあたりまして多くの方々のご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

益々のパワーアップが見込まれる第 3 回も、乞うご期待ください！

<報告映像>

「第 2 回 Non-Border ボッチャ交流会」に参加した高校生の今井由稀さん（クラーク記念国際高校）が、交流会の様子を映像でまとめてくれました。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=l-0d1aiTXug&feature=youtu.be>



「第 2 回 Non-Border ボッチャ交流会」参加者全員での集合写真

第2回 Non-Border ボッチャ交流会 開催要項

【目的】

年齢・性別・国籍・スポーツ経験・障がいなどの違いを越えて交流し、「スポーツを通した“ゆたかなくらし”」を目指すことを目的とする。

【交流会の特徴】

年齢・性別・国籍・スポーツ経験・障がいなどに関わらずどなたでも参加できます。

様々な団体と交流ができます。また、会場内の団体デスクを活用して、団体のPRや協力者募集などができます。(営利目的での利用はご遠慮ください)

会場内にボッチャバーを設置し、飲み物を片手にボッチャや交流をお楽しみいただけます。

高校生を対象としたオリンピック・パラリンピック教育イベント「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム」と連携して開催いたします。

1 日 時	2019年12月22日（月） 13時～17時30分
2 場 所	桐陰会館（筑波大学附属中学・高校敷地内）
3 主 催	NPO 法人サロン 2002
4 協 力	J-Workout、豊島区スポーツ推進委員、文京区スポーツ推進委員 国際障がい者活躍社会創造協会
5 助 成	今回の交流会は「草の根事業育成財団助成金」を受けて実施いたします。
6 プログラム	<p>11:00～12:00 ボッチャ体験会、手作りボッチャワークショップ（よろしければご参加ください）</p> <p>12:30 参加者受付開始</p> <p>13:00 開会式（イベント趣旨説明・参加チーム紹介など） ※各チームより一言チーム紹介</p> <p>13:30～15:45 第1部：参加申込チーム単位でのリーグ戦</p> <p>15:45～16:15 第1部表彰式、第2部説明・くじ引き</p> <p>16:20～17:30 第2部：参加者ミックスでのノックアウト戦</p> <p>17:30 第2部表彰式、閉会式</p> <p>18:00～19:00 懇親会（任意参加） ※ 13:30～17:30 団体紹介デスク（活動紹介・物販など）、ボッチャバー（ドリンク販売）、ボッチャ映像上映、手作りボッチャワークショップ（試合がないタイミングにお楽しみください）</p>
6 参加費	1人 1000円（保険代含む、1ドリンク付き）、高校生以下 1人 500円
7 持ち物	体育館シューズ・靴袋
8 出場チーム数	24チーム（約100名）
9 その他の	<p>（1）記録・広報の為、写真撮影を行います。</p> <p>（2）本大会の申し込みにおいて知り得た情報は本大会運営に関する目的以外には利用または第三者に開示及び提供しません。</p>

第2回 Non-Border ボッチャ交流会 申し合わせ事項

本大会は、年齢・性別・国籍・スポーツ経験・障がいなどの違いを越えて交流し、「スポーツを通した“ゆたかなくらし”」を目指すことを目的としています。そのため、基本的には「日本ボッチャ協会規則 2017 – 2020」に則りますが、一部競技規則を緩和することを本交流会申し合わせ事項とします。

- 1 第1部、第2部を通して、スローイングボックスを2枠に減らしたコートで実施します。
- 2 第1部の試合形式は、各ブロック4チームによる予選リーグを行った後、同順位同士で2チームずつ対戦し、総合1位3チームを決定します。第2部の試合形式はノックアウト方式とします。
- 3 第1部は2エンド、第2部は1エンドとします。 第1部はタイブレイクは実施せず、2エンドで勝敗が決しない場合、引き分けとします。第2部は、各チーム1球でタイブレイクを実施します。(先攻、後攻はじゃんけん)
- 4 第1部はリーグ戦が終了した時点で、勝点(勝利3点・引き分け1点・敗戦0点)の合計が多いチームを上位とし、順位を決定します。ただし、勝点が同一の場合は、得失点差・総得点数・当該チーム間の対戦成績の順序により決定します。
- 5 1エンドにつき3名~6名のプレーヤーが順番に投球し、エンド内での投球順の変更は行わないでください。対戦チームとプレーヤー数を合わせる必要はありません。
- 6 今回の大会では、バイオレーション(反則行為)については、基本審判の注意にとどめます。

本来のルールより下記の行為について注意しましょう！

- ※審判からどちらのサイドになるか指示板が出る前や相手サイドの指示板の時に投球しない。
- ※ボールを放つ際にボックスのラインに触れたり、踏んだりしない。
- ※他のプレーヤーを妨害したり競技の進行を故意に遅らせるような行為をしない。

- 7 練習投球は、各チーム初戦の試合前のみでお願いします。
- 8 試合の進行は、試合状況により長引いたり、短かったりします。そのため、試合順序やコートが変更になったり、試合開始が早まる場合もあります。試合の合間には、団体デスクやワークショップなどお楽しみいただければと思いますが、試合の順番になり3分間経過しても、当該チームが3名以上コートに揃わなかった場合、不戦敗としますので、ご注意ください。
- 9 手作りボッチャボールを持っている場合、当該チームは正式な6球に手作りボールを1球追加し、合計7球を投げることができます。(手作りボッチャボールを複数持っている場合でも最大7球)

<チーム紹介>

今回の交流会の参加チームは以下の通りです。

☆団体紹介デスク設置団体

団体名	チーム紹介
明星大学村岡ゼミ	明星大学で運動生理学を研究する村岡ゼミからの選抜メンバー（先生不在）。ボッチャを生理学的視点から捉え、必要な筋肉、グレーディング能力の向上に取り組んできました。狙うはもちろん優勝です。
Team Nigeria チームナイジェリア	We're Nigerian and Nigerian like Japanese. High school students talented in sports from Nigeria will plays Boccia first time. ナイジェリア人とナイジェリア人みたいな日本人のチームです。運動神経抜群のナイジェリア人で留学生が、初めてボッチャをプレイします。
NPO 法人 コンフロントワールド ☆	「不条理の無い世界の実現＝生活と権利が保障され、誰もが自分で未来を決められる社会の実現」を目的に活動する国際協力NPOです。ウガンダ共和国の衛生環境の改善、南スudanの難民支援等を行っています。
DC1 + α	職場の同僚とその友達のミックスチームです。
チーム JW ☆	脊髄損傷には詳しいですが、ボッチャについては新米です。トレーナーや受付、その他色々な職種がミックスした色とりどりチームです。目指すは1勝！？いや、楽しみながら優勝を狙います♪
Pamoja	タンザニア、ケニアで活動していた青年海外協力隊OB、OGでチームを結成しました！
チーム総スポ A ☆	日本体育大学でスポーツ庁や日本スポーツ振興センター（JSC）などの委託事業を担当している研究員のチームです。全国でオリパラ教育を担当している者、ウガンダで体育の指導書作りのサポートをしている者、発展途上国が東京パラリンピックへ参加できるためのサポートをしている者。普段は全く違った業務をしていますが、今日は同じボッチャチームで協力して頑張りたいと思います。
チーム総スポ B	日本体育大学でスポーツ庁の委託事業などを担当している研究員と職員によるチームです。昨年優勝した「チーム総スポA」とは違い、今年初めてボッチャをした人を中心としたチームです。
川崎ボッチャーレ	川崎市役所の職員で結成したボッチャチームです。パラスポーツを理解・体験する第一歩として始めましたが、ボッチャの「魔力」に取り憑かれてしまいました☆本日は、みなさんとの交流を楽しみにしています♪
CLARK I	私たちはクラーク記念国際高等学校横浜キャンパスグローバルスポーツ専攻に所属しています。スポーツをツールにグローバル・多文化共生社会で活躍できる人材を目指し、日々学んでいます。

団体名	チーム紹介
CLARK II	私たちはクラーク記念国際高等学校横浜キャンパスグローバルスポーツ専攻に所属しています。スポーツをツールにグローバル・多文化共生社会で活躍できる人材を目指し、日々学んでいます。
夏目漱石	筑波大学附属高校 2 年の六名です！
J (Japan) S (Sport) C (Camaraderie)	日本 (Japan) のスポーツ界 (Sport) を通して出会い、友情 (Camaraderie) が芽生えた大切な仲間たち。今もなお会った場所で頑張っている仲間もいれば、違った場所で頑張っている者、また元の場所に戻ってきた者と、様々な環境に身を置きながらもチームワークはいつでも抜群です。ボッチャ交流会もいつもの明るさ満開で皆で楽しみたいと思います♪
ボッチャピースクラブ谷口 ☆	私たちのチームは、ボッチャピースクラブおぢやの代表として参加しています。ピースクラブは「ごちゃ混ぜ社会」つくりをミッションとするクラブです。今日は雪国パワー全開です。
Shooting Stars: one for the road ☆	アフリカンズをメインとしたチームです！ブースでは日本とアフリカを繋ぐ団体 AYINA(アイーナ)などの紹介をしておりますのでお越しください♪
渡辺クラブ	みんな渡辺です。経験薄です。
キラキラユニコーンチーム	兄弟姉妹 最強 MIX チームです！！
がんばれ！！坊っちゃんボッチャ	GOOD-LOOKING 最強男の子チーム！！
Team Africa	アフリカ諸国の出身者とその仲間たち
クーベルタン・嘉納ユースフォーラム A (仮称)	「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム」参加高校生ミックスチーム
クーベルタン・嘉納ユースフォーラム B (仮称)	「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム」参加高校生ミックスチーム
クーベルタン・嘉納ユースフォーラム C (仮称)	「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム」参加高校生ミックスチーム
クーベルタン・嘉納ユースフォーラム D (仮称)	「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム」参加高校生ミックスチーム
クーベルタン・嘉納ユースフォーラム E (仮称)	「クーベルタン・嘉納ユースフォーラム」参加高校生ミックスチーム

＜クーベルタン・嘉納ユースフォーラム＞

世界中から高校生が集まり、座学やスポーツ、アート活動を通してオリンピズムを学ぶ「国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム」が 2 年に一度行われています。その選考を兼ねた標記フォーラムは 2015 年にはじまり、今回は東京都高体連研究部と NPO サロンの主催で 12 月 21 日～ 22 日に桐陰会館で開催されます。筑波大附属、同附属坂戸、帝京、自

由学園、都立府中東、クラーク記念国際の各学校から集まった 28 名の高校生は、プログラムの一環として本交流会にも参加します。

開会式では、フォーラム内で作成したポスターについて発表します。

＜手作りボッチャボールワークショップ＞

ボッチャは世界中で実施されていますが、なかなか

用具が手に入らない国ではどのようにして実施しているのか。今回は、実際にネパールでボッチャの指導・普及を行なっていた浅見明子さん（元青年海外協力隊）と村山恵子さんを講師に、実際に身近なものからボッチャボールを作成します。作成したボールは、実際に交流会内の試合でお使いいただけます。

本交流会特別ルール

手作りボッチャボールを持っている場合、当該チームは正式な 6 球に手作りボールを 1 球追加し、合計 7 球を投げることができます。（手作りボッチャボールを複数持っている場合でも最大 7 球）

<ボッチャバー>

会場内にボッチャバーを設置し、ソフトドリンク・ビール・ワイン・コーヒーなどの飲み物とケニアなどのアフリカ諸国でよく食べられているスナック「マンダジ」「サモサ」を販売いたします。アルコール類は第 2 部に販売を開始します。飲み物片手にボッチャや他の団体との交流をお楽しみください。

収益は、NPO 法人サロン 2002 が毎年フットサルの全国大会を開催し、今年 9 月の洪水の影響が今なお残る長野県千曲川周辺地域の復興活動に寄付いたします。

<ボッチャ映像上映>

ボッチャの基本的なルールや世界のトッププレイヤーの技術が分かる映像を上映いたします。試合の合間にお楽しみください。

<資料室>

桐陰会館は筑波大学附属高校・東京教育大学附属高校・東京高等師範学校附属中学校の卒業生の同窓会である「桐陰同窓会」が創立 120 周年を記念して設立した施設です。施設内に卒業生や学校の歴史を紹介する資料室が設置されています。今、大河ドラマ「いだてん」で話題の金栗四三氏・嘉納治五郎氏などの功績も展示されています。

